

令和元年度 第1回学校自己評価中間報告 主な結果と考察

浦里小学校

【生徒アンケートの結果・考察】

- ほぼ全項目で児童80%を超える児童が「そう思う」「大体そう思う」という回答でした。特に「学校へは毎日楽しく通っていますか」は100%の回答でした。今後も児童にとって毎日通いたいと思える楽しい学校づくりをめざしていきます。
- 「マラソンでは、がんばってたくさん走りましたか」「家庭学習の時間はしっかりとれていますか」の回答では「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した児童が10%を超えています。マラソンは職員だけでなく、児童会の呼びかけも増やしていきます。家庭学習は上田市統一で取り組んでいる生活ノート「紡ぐ」を活用し、さらに家庭と連携していきます。
- 「自分にはよいところがあると思いますか」に対する回答では、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した児童が10%を超えました。自己肯定感がさらに高まるように互いのよさをみつけ合い、伝え合う機会を多くしていきます。

【保護者アンケートの結果・考察】

- 「家庭学習」に関わる質問、「授業の関わり合い」「授業の振り返り」以外は80%を超える回答が概ね満足できる回答でした。
- 家庭学習は特に時間が不足していると感じている保護者が多くなっています。生活ノート「紡ぐ」を活用し、家庭での理解を深めてもらい、家庭での見とどけや励ましができるようにしていく必要があります。
- 「授業の関わり合い」「授業の振り返り」は、授業改善の研修の機会を通して、日々の授業で職員が意識して位置づけられるようにします。

【保護者アンケートの自由記述に関わって】

- コミュニティスクールとして、地域の方のボランティア、地域の方との交流活動、こまゆみ教室等についてや、学校運営全般に関わってたくさんの意見をいただきました。ほとんどの方が地域の方の支援をありがたいことと受けとめ、その成果の大きさを認めてくださる意見が多く見られました。
- 学校施設の安全面の不安や、児童間のいじめの心配を感じている保護者もあり、これからも子どもたちの安心、安全な学校づくりをするために、できる限りの対応を取っていきます。